

令和7年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1. 児童の学習状況

国語	○話し合い活動を多く取り入れたことで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようになってきている。 ○第1学年で学習した漢字や1学期の新出漢字がしっかり身に付いている。 △主語と述語の関係が定着していない児童が多く、文章を書くことに対して苦手意識が強い。 △大事なことを落とさないようにメモを取る方法は学んだが、実践は難しい。
算数	○積極的に発言し、自分で考えたり、友達と教え合ったりしながら学習しようとしている。 ○加法や減法の文章題を読み、題意を捉えて立式できる。 △長さや水のかさなどの知識や感覚が身に付いていない。 △時計はよめるが、時間の計算が苦手な児童が多い。

2. 各教科の具体的な取組

	特に育成を目指す資質・能力	取り組み
国語	・自分の考えが伝わるように書く力。 ・自分の考えをもって、学習に取り組む力。 ・大事なことを落とさないように聞く力。	・書く活動(感想文、振り返り、自分の考えを記録、週に1度の日記の宿題など)を多く取り入れ、改行やかぎ括弧、句読点の使い方を学習する。 ・ペアやグループで読み合い、よいところを参考にする活動を通して、主体的に学ぶ機会を確保する。 ・グループや全体での話し合いの前に、自分の考えをノートに書くことで、自分の考えをもてるようにする。 ・考えをもつために黒板に視点を示し、考えをもちやすくする。 ・話し合いで学んだ考えを青鉛筆で記録し、自分の考えの広がりを感じさせたり、自分の考えと比べたりできるようにする。 ・メモを取る機会を十分に確保するとともに、よいメモは全体で共有する。 ・学習の振り返りにおいて、振り返る視点を示し、考えをもちやすくする。(わかったこと、できるようになったこと、これからやってみたいこと) ・話を最後まで聞くことや目を見て姿勢を正しく聞くことを意識できるようにする。
算数	・長さ、かさ、時間など、量感を身に付ける力。 ・正しい計算の方法、手順を身に付ける力。	・授業に限らず、日常生活における生活経験の中で長さやかさ、時間など量について考える機会を多くする。 ・筆算の書き順、計算の手順など順序よく進めることで、速く正確に答えを導き出すことができるようにする。 ・計算方法を筋道立てて自分の言葉で唱えることで、計算の理解の程度を把握したり、自分の考えを整理したりして学習できるようにする。